

株式会社SHOEI 2023年9月期第2四半期決算説明資料



I

2023年9月期第2四半期決算実績

P. 2

II

2023年9月期業績予想（現時点で変更せず）

P. 9

I. 2023年9月期第2四半期決算実績

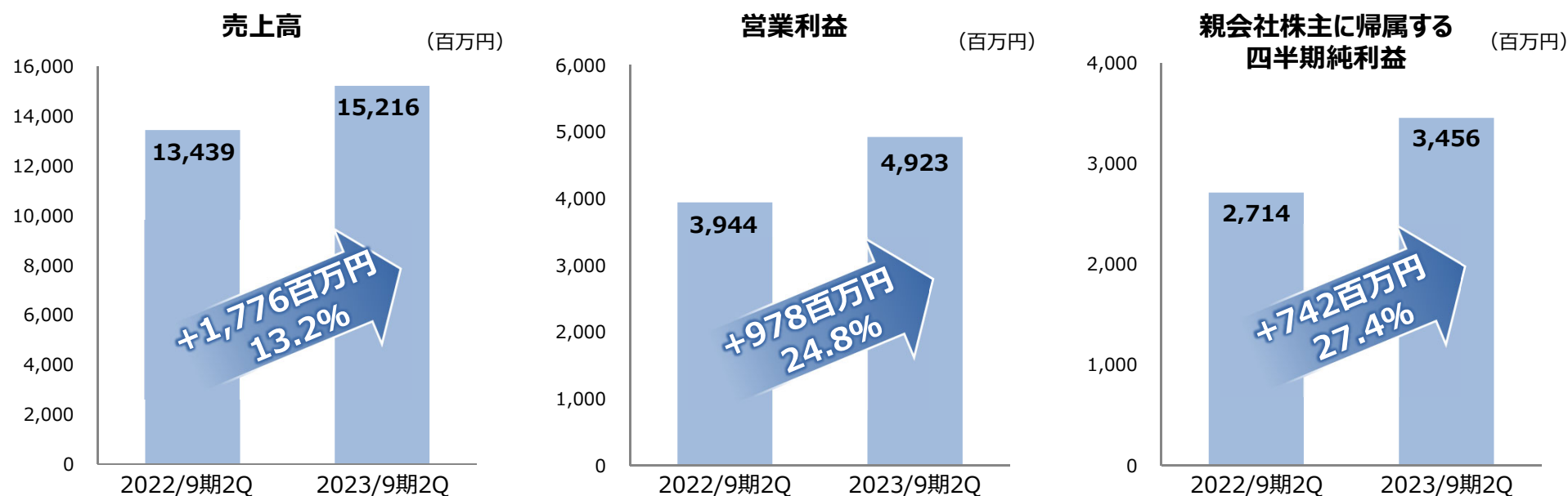


① 決算実績概要



2023年9月期第2四半期決算のポイント

- ① 期初に策定した生産、販売計画を達成し、子会社による販売もほぼ予定通りであった。販売数量は前年同期比+5千個（+1.6%）
- ② 2022年10月の一斉値上げ、新モデル発売による単価アップに加え、円安進行により、売上高は前年同期比13.2%増
- ③ 資材費や電力料金等のコスト増はあったものの、上記②に加えて販管費が想定より費消されず、営業利益は前年同期比24.8%増



期中平均為替レート
(2023年9月期2Q)

US\$ = 137.81円
(前年同期比+22.98円)

EUR = 143.48円
(前年同期比+13.43円)

海外子会社換算レート
(2022/12末)

US\$ = ¥132.70
(前年同期比+17.68円)

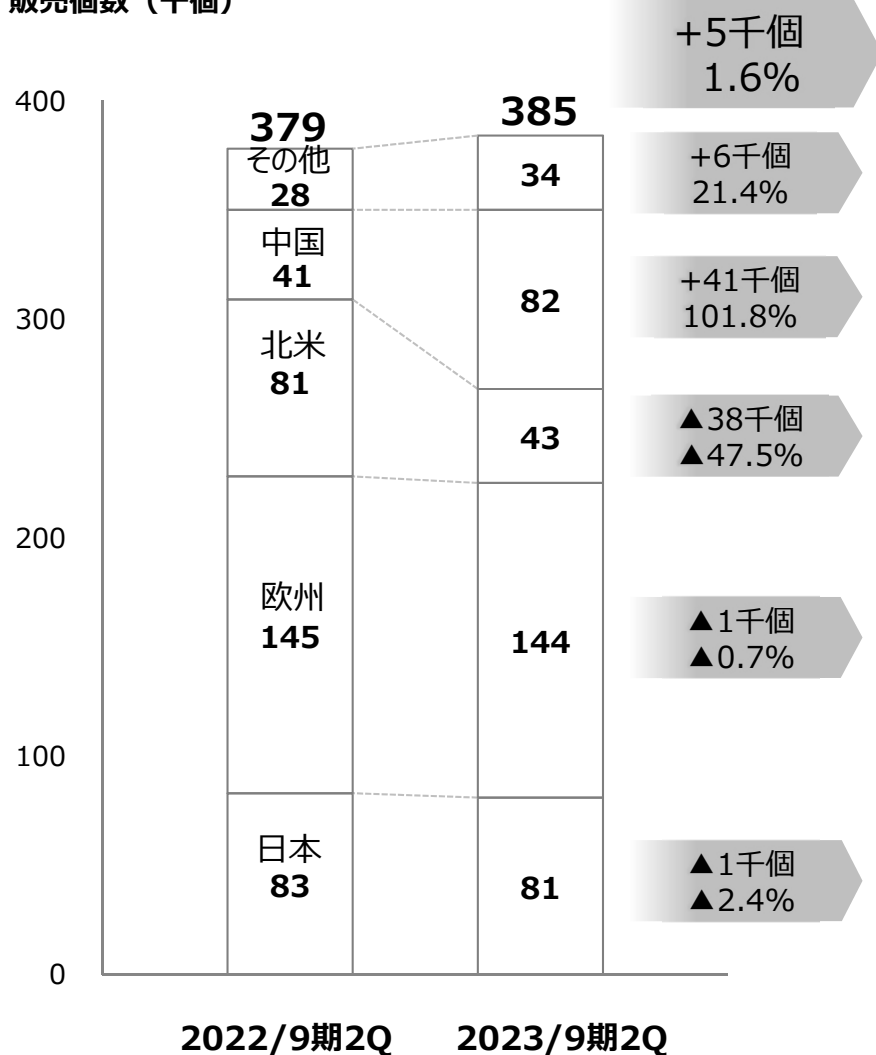
EUR = ¥141.47
(前年同期比+10.96円)

②地域別販売個数・売上高（連結）

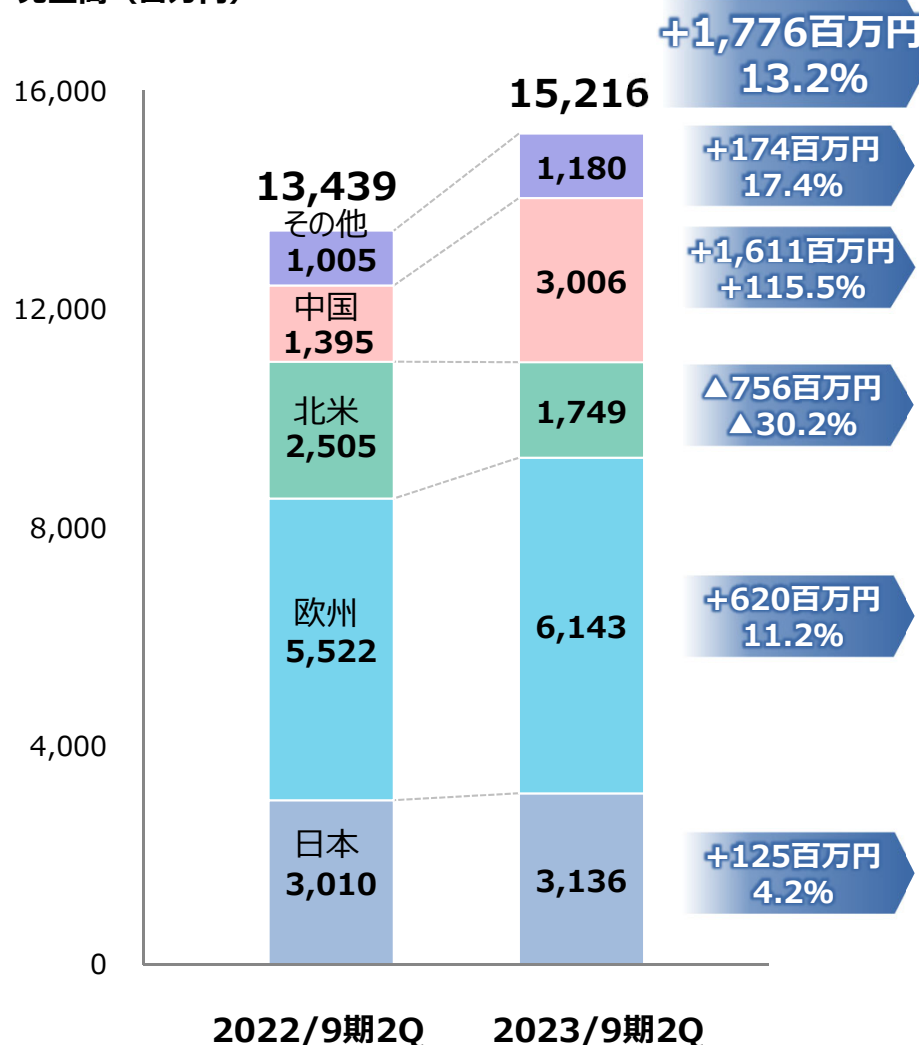


地域別販売個数・売上高（連結）

販売個数（千個）



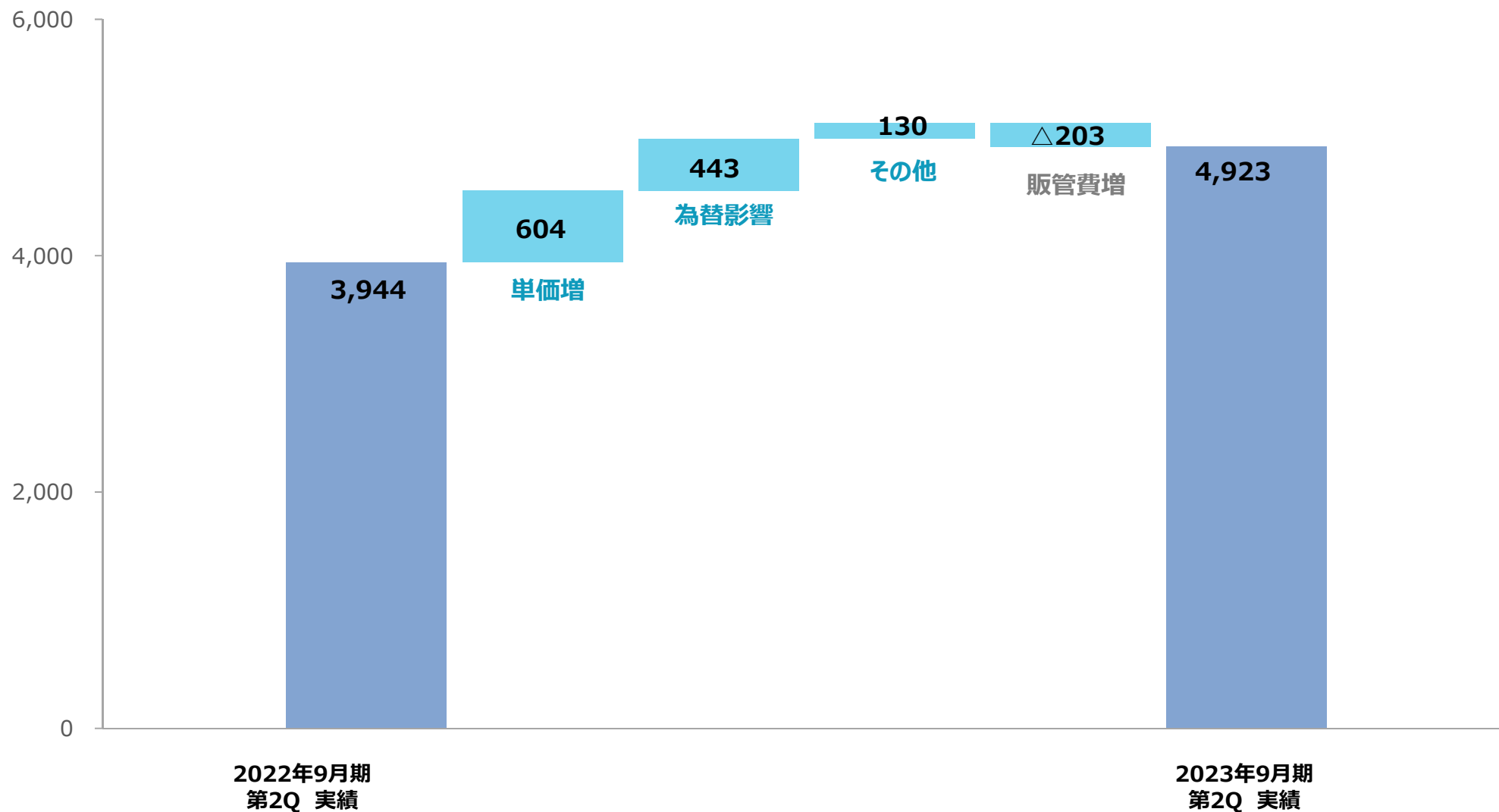
売上高（百万円）



⑧ 営業利益増減要因 (実績)



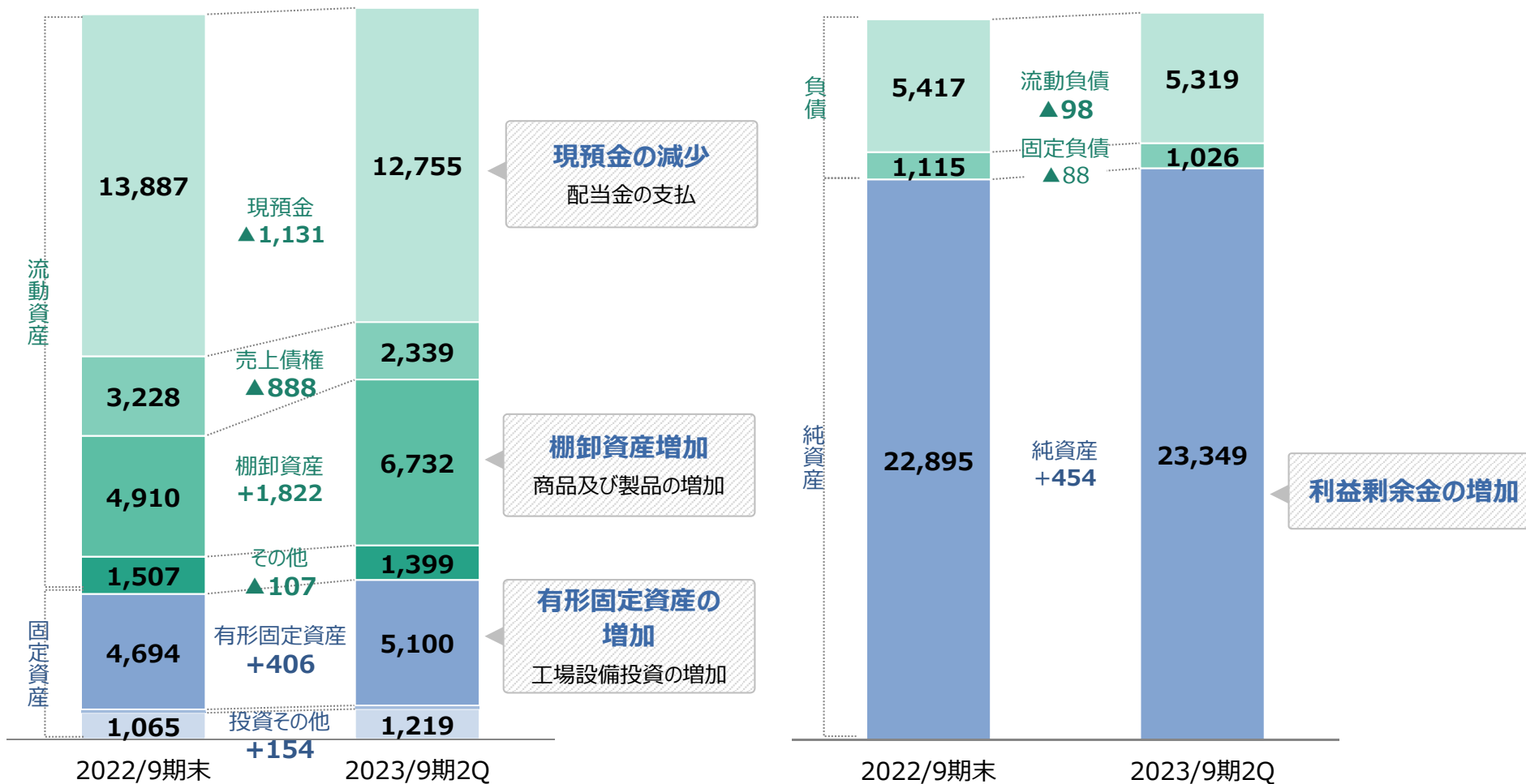
(単位：百万円)



④ 貸借対照表 (B/S) (連結)



資産 (単位：百万円) 負債/純資産 (単位：百万円)

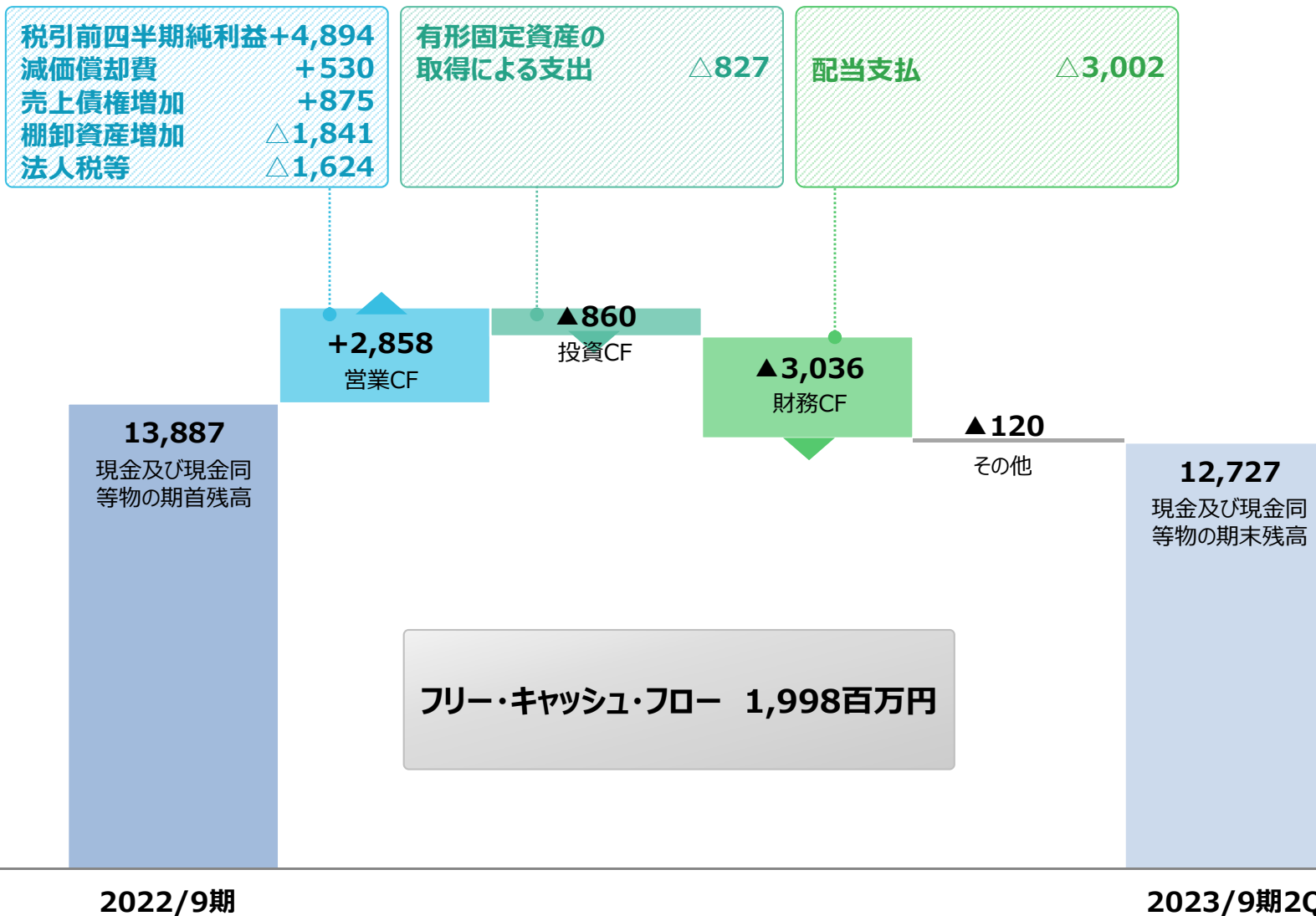


自己資本比率 **77.7%** ▶ **78.6%**

⑤ キャッシュ・フロー計算書（連結）



(単位：百万円)



⑥ 2023年9月期第2四半期トピックス



- 顧客との接点を増やすべく、直営ショールームの4号店となるSHOEI Gallery KYOTOをオープン
- 昨年に続き『大阪・東京モーターサイクルショー』に出展、来客数も前回比36.3%増※となるなど久しぶりに活況を呈した

直販ショールーム SHOEI Gallery KYOTO オープン

SHOEI製品の展示スペース：SHOEI Gallery KYOTOを東京、大阪、横浜に続く4店舗目として2023年5月18日にオープン（最寄：烏丸駅/阪急、四条駅/地下鉄）

現行ラインナップ品で発売中の製品を展示・発売、全て試着可能
PFSサービスを提供



『大阪・東京モーターサイクルショー』出展（2023年3月）

毎年春の3日間に渡って催されている、日本国内で最大規模のオートバイ、部品、用品の見本市『大阪・東京モーターサイクルショー』に出展

2022年12月に発売したスマートヘルメット「OPTICSON（オプティクソン）」



※主催者発表公式入場者数に基づく

Ⅱ. 2023年9月期業績予想

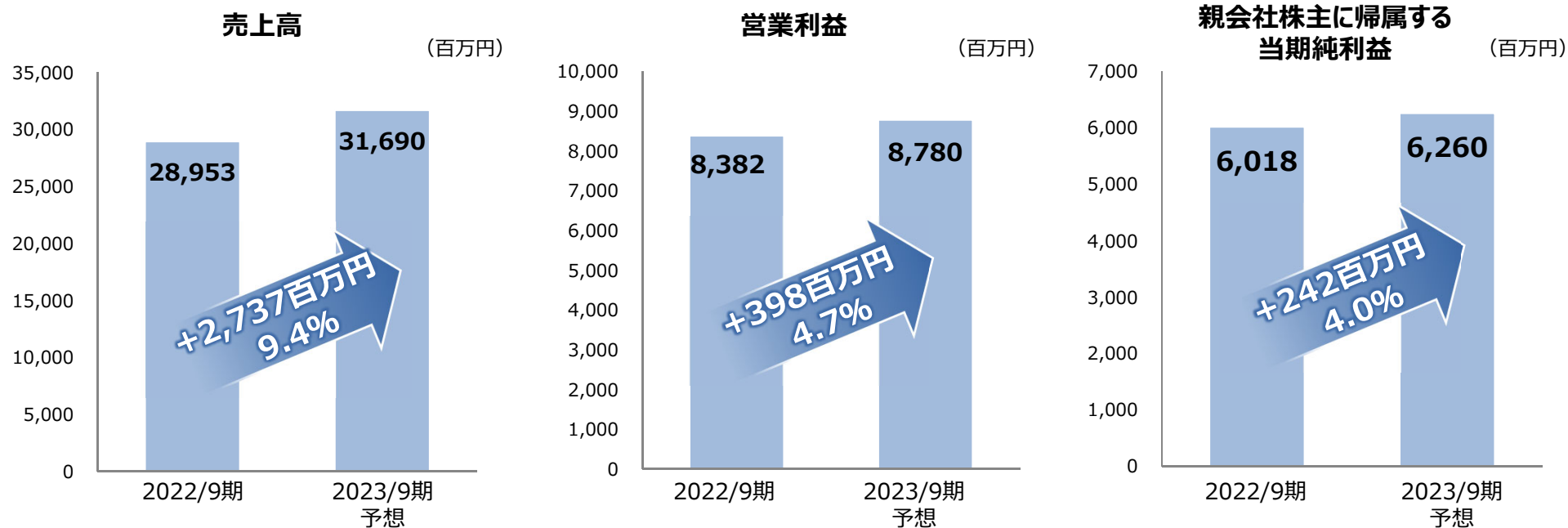


①売上・利益予想（現時点で変更せず）

売上・利益予想に関するポイント

上半期業績は、売上高はほぼ計画通り、各利益は計画値を上回って推移しているものの、様々な先行き不透明要因（以下）も認められるため、現時点において通期連結業績予想は変更せず

- ① ポストコロナにおける消費目的の多様化、及び特に欧米における諸物価高騰が二輪車用品需要に与える影響
- ② 原材料価格上昇リスク
- ③ 為替急変リスク
- ④ 地政学リスクの高まり等



② 2023年9月期マーケット環境とトピックス（販売・商品・生産）

販売戦略

全般	工場における受注残は一時の1年超分から現在は3~4ヶ月分に短縮。よって今後は受注コントロールを解除する。欧州や中国における新規格及び新モデルの影響で、当面工場はフル稼働が続く見込み。
欧州	新規格ECE06へのスムーズな移行が課題
北米	ポストコロナやインフレ・景気低迷等の販売への影響に関する情報を積極的に収集
アジア	中国市場はアウトドア用品の需要低下が顕著との分析もあるが、現在のところ弊社製品の売れ行きは堅調。消費者の購買動向とは別に、新規格施行により上市される新モデルの販売店による品揃え在庫需要を期待。
日本	引き続き高水準の需要が持続するものと想定、直販ショールーム（SHOEIギャラリー）京都店を本年5月にオープン済、ニーズに応え今後さらなる出店を検討

商品戦略

- レーシング用ヘルメット（弊社フラッグシップモデル）X-15シリーズ



- レプリカヘルメット戦略を強化、新ライン拡充



Marc Márquez 選手
レプリカモデル



「NEXT LINE」
Z-8 IDEOGRAPH

- SHOEIらしいデザイン性、機能性を生かしつつ、欧州新安全規格（ECE06）及び新中国企画（GB）への確実な適合を目指す。

生産戦略

- 2023年9月期の生産体制：年産83万個までの能力増強を推進中
- 中期の生産能力増強対策：茨城工場の隣地を2022年1月に確保（造成完了及び引渡しは2023年秋の予定）



IRに関する
お問い合わせ先

株式会社SHOEI

電話

03-5688-5160

e-mail

ir@shoeihelmet.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。